

1 小学校学習指導要領（外国語活動と外国語科）

Let's give it a try!	解答例		
1. 学習指導要領に示されている「新しい時代に必要な資質・能力」とは何かを示しなさい。	・生きて働く「知識・技能」 ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」 ・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」		
2. 小学校における外国語活動と外国語の違いについて示しなさい。	・外国語活動の外国語の主な違いは以下の通り。		
		外国語活動	外国語
	教科	教科ではない	教科である
	学年	3・4年生	5・6年生
	授業時数	年間 35 単位時間（週 1 コマ）	年間 70 単位時間（週 2 コマ）
	目標	コミュニケーションの「素地」となる資質能力の育成を目指す	コミュニケーションの「基礎」となる資質能力の育成を目指す
	5 領域の扱い	3 領域（聞くこと・話すこと [やり取り]・話すこと [発表]）	5 領域（聞くこと・読むこと・話すこと [やり取り]・話すこと [発表]・書くこと）
	慣れ親しみ／定着	慣れ親しみをめざす（定着までは目指さない）	聞くこと・話すこと（やり取り・発表）⇒定着を目指す 読むこと・書くこと⇒定着を視野に入れる（読むことのイのみは慣れ親しみまで）
	短時間学習	実施しない	実施することも可
	評価	文書による評価	数値による評価を計画（今後の議論による部分もあり）
3. 定着とは何を意味するかを示しなさい。	単に覚えているだけでなく、目的・場面・状況に応じて言葉を「使える」ようになること。		